

大東西小だより

学校目標 明るく 元気に 美しく

川越市立大東西小学校通信

第10号 児童数：553名

令和6年 1月 9日 (火)

校長 米塚 貴洋

本年もよろしくお願いたします

あけましておめでとうございます。令和6年の新しい年を迎えました。冬休みは、いかがお過ごしでしたでしょうか。今年度の年末年始は、暖かな日が多く過ごしやすかったことと思います。旧年中は、保護者・地域の皆様から温かいご理解とご協力を賜り、大変ありがとうございました。

さて、3学期がスタートしました。3学期は、今の学年の総仕上げの学期であり、次の学年の準備期間でもあります。今年の干支は、「辰（たつ）」。辰は「ふるう、ととのう」を意味する言葉だそうです。そのため、辰年は陽気が動いて万物が振動するので「活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」といわれているそうです。また、辰は十二支獣として竜があてられ、隆盛の象徴でもあります。この3学期は、子供たち一人一人が活力旺盛に更に成長することで、自信をもって次の学年に進級、進学してほしいと思います。そして、子供たちの力をできる限り引き出せるよう教職員一同努めてまいります。本年も、本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

時間走記録会 応援ありがとうございました

12月5日（火）に時間走記録会を行いました。練習では、マラソンカードを用いて、体育の時間だけでなく休み時間も校庭で練習を積み重ねていた児童もいました。自分の目標に向けて、自分のペースで走り続けることができたのは大変立派でした。当日は、保護者の皆様の応援を受けて、これまでの自分を超え、記録を更新できた子供たちが大勢いました。子供たちへの励ましのお言葉をありがとうございました。



保護者の方から「どうして持久走大会から時間走記録会へ変更したのですか。」と質問がありました。今までの大会では、大会当日、校外の歩道や道路を走っていました。しかし、普段の練習では校外のコースをゆっくりと集団走で下見をさせることはしましたが、本番のようにそれぞれに力いっぱい走らせることはできませんでした。なぜなら、コースが長く、見通しの悪い箇所もあり教員の目が行き届かないため、不整地から起きる怪我や体調の急変への緊急対応が難しいからです。そこで、持久走の本来の指導内容について見直しを行いました。文部科学省の小学校学習指導要領が小学校の教科指導の基準となりますが、そこには以下のように内容が示されています。

○第1学年及び第2学年の内容

「一定の速さでのかけ足」…無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること。

○第3学年及び第4学年の内容

「一定の速さでのかけ足」…無理のない速さでかけ足を3～4分程度続けること。

○第5学年及び第6学年の内容

「時間やコースを決めて行う全身運動」…無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること。

(文部科学省発行 小学校学習指導要領解説〈体育編〉より抜粋)

どの学年においても「無理のない速さで」「〇〇分程度」走ることとなっています。以前のように順位をつける大会では、どうしても相手と競い合い、自分のペース以上に無理して走ったり、ペースを乱したりすることになりがちです。体力を高めるための持久走が、無理をして走ることによって怪我や体調の急変を引き起こし、健康を害することになってしまえば本末転倒です。そこで、必要以上に競争心を持たせるのではなく、一人一人が自分のペースに合わせて持久力を伸ばしていくことが大切であると考え、時間走記録会に変更しました。また、このような記録会にすることで、学級閉鎖等で該当学級のみが延期になった場合でも、後日、本番と同様の条件で記録会を実施することが可能です。

子供たちにはそれぞれ今回の記録証を配付してあります。来年度は、その記録を目安にして目標を立て、更に自己の持久力を向上できるよう各ご家庭で励ましていただくと幸いです。